

栄東まちづくり協議会 12月協議会 議事録

日 時：2024年12月5日（木）18:00～20:30 場 所：栄東まちづくり協議会会議室

出席者：野田、田端、谷澤、近藤、江口、加藤（辻本代理）、小澤、藤井、
池田、渡邊、山岡、鈴木、只井

●定足数及び議事録署名人の確認

13人中13人の出席で栄東まちづくり協議会規約第10条第2項の規定（在籍委員の過半数の出席）により有効に成立、議事録署名人は田端副会長と只井委員とする。

■議題

1. 2024年度予算の修正について

2024年度予算の修正について資料の通り説明した。

<審議事項> 2024年度予算の修正について、資料に記載の事業執行案と予算修正案の通り予算を修正して各事業を進めることと、それらの事業執行後に残る予算について資料に記載の案に基づいて事業を執行することが全員一致で承認された。

（質問、意見）なし

2. 街路灯整備事業 街路灯の整備について

街路灯の整備について資料の通り説明した。

<審議事項> 街路灯の整備について、資料に記載の整備基数と整備場所に基づいて街路灯の追加整備をすることと、その地先確認を栄東発展会に依頼し、12月中に結果を報告いただくことが全員一致で承認された。

（質問、意見及び回答）

- ・整備が取りやめになった箇所は、地先確認が取れなかったということか。
→8～9月の地先確認時には同意をいただいております、それを踏まえ入札を実施していましたが、先方より入札期間中に整備場所の変更要望があったものである。周辺の代替位置も提案したがその位置も支障があるとのことで、結果として街路灯を設置しないこととなり、それについては当該町内会も同意している。
- ・追加整備の場所の選定理由の説明の中で、栄4丁目の街路灯を栄5丁目に移設する場合には南北の通りにしか移設できないと説明があったが、その理由は何か。
→栄東地域の街路灯には、地中から電気を引くタイプ（地中線タイプ）と電柱から電気を引くタイプ（架空線タイプ）の2種類があり、ポールの高さが異なる。栄4丁目の通りはほとんどが無電柱化されているため、地中線タイプの街路灯を整備済みであるが、栄5丁目で地中線タイプが整備できるのは、無電柱化されている南北の通りだけである。

3. 2025 年度予算案及び事業計画案について

2025 年度予算案及び事業計画案について資料の通り説明した。

<審議事項> 2025 年度予算案及び事業計画案について、各地域団体で情報共有と検討をいただき、12 月中に検討結果を事務局へ報告することと、その結果を踏まえて 1 月協議会にて審議・決定することが全員一致で承認された。

(質問、意見及び回答)

【予算額の設定と実際の収入について】

- ・現時点で判明している 10 月までの売り上げの実績を踏まえ、来年度の予算は 6000 万円を編成する。実際の収入はそれより減額となる見込みであることも認識いただきたい。

【予算案・事業計画案の検討方法について】

- ・各事業の予算を変更（増額）したい場合は街路灯整備事業から流用するしかない。本当はもっとやりたいことはあったが、予算がないときにやっても仕方がないということで、三会長で話し合った。それを踏まえて事務局で 6000 万円に数字を収めるように削減した予算案と先ほど説明があったが、実際これが正直なところだと思う。そのため、各団体でこの削減案を承認してもらうのが一番理想的だと思う。
- ・今回説明があった予算案・事業計画案についての各地域団体の意見は、栄東女子大小路ビル協会は 12 月 10 日の役員会、栄東まちづくりの会・栄東発展会は 12 月 12 日の定例会で検討して報告する。
- ・予測される 6000 万円という予算の収入見込みに対し、各団体からの事業要望を踏まえて各事業の支出を削減した案を作成して説明したというのが今の段階である。その内容を踏まえて地域 3 団体で議論していただく訳だが、それぞれどんな議論をされるのか、イメージ等を各団体にお聞きしたい。逆に、各団体での説明にあたり悩み等があればそれもお聞きしたい。
- ・栄東発展会は、今説明してもらった予算案・事業計画を皆さんへ伝え、それに対して出た意見を協議会へ返そうと思う。昨年度の予算案を作るにあたって削減をしなければいけない理由をきちんと会員に説明をした。今回の予算案についてもそれを踏まえた考え方で事業要望を出しており、今回削減した案と栄東発展会の事業要望の数字にあまり差がないため、削減した予算案で合意していただけたと考えている。
- ・栄東まちづくりの会としては、今年度の夏まつりは赤字が出ており、その部分は皆さんに集めていただいた協賛金の過去の蓄えから出している状況であり、それを踏まえて今回の事業要望ではその赤字部分については予算を増やしてほしいと要望した。できれば街路灯を 2~3 本減らしてその分を他の事業に予算を回していただけたらいいと思うものの、協議会として考えると各事業の予算を 6000 万円に収めないといけない状況である。栄東まちづくりの会のイルミネーションイベントの収支報告が全てで揃っていないため現時点では何とも言えないが、もしイルミネーションイベントが黒字となり、それで夏まつりの赤字の補填ができれば、今年度と同じ予算額で何とかやっていけるとは思う。但し、協賛金についても来年度に今年度よりも多く集まるといふ保証はないため、そのあたりを栄東まちづくりの会の執行部で話をしたいと思っている。

- ・ 栄東女子大小路ビル協会での説明にあたり、次々年度 2026 年度の予算で減る項目はあるか、それとも来年度と同じような予算の配分となる想定かを知りたい。なぜかと言うと、例えば調査研究事業で来年度をかけて取り組み等を検討したとして、再来年度に結局予算がつかないのであれば検討が無駄になってしまう。再来年度に予算をつけるための具体策を練るために、来年度話し合っ て検討しようということであれば、それに人を出すことの意義もあり、説明もできる。今後新しい人をどんどん入れ、継続していただくとするのであれば、途中でやる気をなくしたり火が消えるようなことがないようにコントロールしないとイケない。そのため、再来年度に予算が配分される見込みが再来年度にあるのかを確認したい。
 - 新設街路灯の広告パネルのリニューアルは来年度で完了するため、来年度の予算に計上している約 170 万円の支出は再来年度には不要になる。また、再来年度ではないが、街路灯整備事業の優先順位の高い第 1 期の整備は 2027 年度中に終わる予定のため、第 2・3 期の整備をしない場合は 2028 年度には街路灯の整備の予算は不要となる。なお、2027 年度以降は 10 年に 1 度の再塗装や新設街路灯の LED ユニット切れ等が新たに出てくる見込みのため、維持管理経費が一部増える見込みはあるものの、7 月協議会で報告した長期の概算見込みの通り（ウェブサイトでは非公開）、街路灯整備事業として例年 2000～3000 万円程度かかっていた予算が年間 1000 万円以下になる見込みである。
- ・ ミニポートピア栄の売り上げを増加させることが一番の解決策である。近隣のホテルに宿泊する外国人観光客が夜に遊ぶところが名古屋にはないと言っているということを知り、近隣のホテルへミニポートピア栄を紹介する等働きかけをしている。地域としても皆でミニポートピア栄へ客を誘致して売り上げ増加を目指すといいと思う。
- ・ 予算案に目が行きがちだが、事業計画案の方も、そこに記載されている実施体制や内容に沿って事業を実施していくものであるため重要である。やるのかやらないのか、具体的にどうやるのか等各団体からの事業要望が事業計画案に落とし込まれているため、各団体で議論いただく際にはこの事業計画案の内容も確認していただきたい。
- ・ 事務局より、事業計画案について、各地域団体から出していたいただいた事業要望が事業計画案に記載されていない項目や、実施体制について修正した方がよいと思われる項目があるため、補足説明する。例えば、「イルミネーションイベント」については栄東女子大小路ビル協会からツリーの仕様や使用期間等の検討の要望が出されているが、それを誰が検討をするのかについては地域団体の意向を確認せずに事務局で勝手に記載することができなかつたため、現時点の事業計画案には含まれていない。他には、「調査研究事業」では各団体でそれぞれ深掘り・検討したいという事業要望を踏まえて「各地域団体において検討する」と記載しているが、実行委員会を設置して検討することになる場合はその記載内容を修正する必要がある。1 月協議会で審議・決定ができるよう、そういった事業計画の内容についても各地域団体で協議いただき、12 月のできるだけ早い時期に結果を事務局までお知らせいただけると有難い。
- ・ 栄東女子大小路ビル協会から出されている「イルミネーションイベントが 25 周年を迎える 2026 年にメインとなるツリーを公園中央付近に設置してほしい」という事業要望について、地域活性化やにぎわいづくりの観点でメモリアルなタイミングで何かを仕掛けるというのは、事業としての打ち出しとしてもメディアにも取り上げられやすく、非常に良いアイデアだと思う。こういった観点でも各地域団体でも議論いただ

くと、1月協議会での予算案・事業計画案の有益な審議ができると思うため、皆さんにお力添えいただきたい。

【各事業について】

●街路灯整備事業

- ・2025年度以降に残る南北線の水銀ランプの街路灯は何基あるか。
→15基である。
- ・来年度の予算に直接関係はないが、水銀ランプは既に製品の製造・輸出入が禁止されており、今後在庫がなくなって入手できなくなる可能性も考えられるため、今年度以降に撤去する既設街路灯の水銀ランプで使用可能なものを数個でも予備として保管しておくことを勧める。

●イルミネーション25周年に係るツリーの設置

- ・池田公園内への臨時的なツリーの設置については、事前に相談があったため、中土木事務所内で確認したが、安全面に配慮されていれば設置はできるのではないかと話になった。
- ・事務局より今後ツリーの設置について検討を進める際にポイントになるであろう項目について補足説明する。「本物の木なのか、作り物のツリーなのか」「警備員を配置せずに安全に池田公園にツリーを設置できるか」「設置期間がイルミネーションイベントの2日間のみか、11月～12月25日までか」等が挙げられ、それによって必要な予算もかなり変わる。
- ・ツリーの設置等について来年度に検討する場合、実行委員会が決めるのではなく、協議会で例えば25周年のツリーを設置するという方針を決定し、それを受けて3団体のうちで主幹となる一つの団体が実行委員会に指示を出すというやり方でやっていけばいいのではないかと考える。

●調査研究事業

- ・この予算案は三会長が話し合っただけで決めたということだが、栄東女子大小路ビル協会としては調査研究事業が本当に0円でいいのか疑問である。次の役員会で理由を説明する必要があるため、確認したい。

→今回説明した予算案・事業計画案となった経緯を補足説明する。栄東女子大小路ビル協会からの事業要望の内容は、栄東地域の内部の事業者・住民を対象にしたアンケートの外注での実施と、積算根拠はないが予算額として30万円であった。そういったアンケート調査の実施に必要な予算額を算出するために、過去に協議会で実施した類似のアンケート調査の経費を調べたところ、ワークショップ3回を含むという違いはあるものの、2016年度当時で300万円強かかったことが分かった。一方で、栄東まちづくりの会の事業要望と栄東発展会の2024年度事業評価（第一次）の内容は、今年度の調査結果を深掘りし、まちづくり事業への活用方法を経費をかけずに検討する内容となっており、その内容を参考に三会長で話し合いをさせていただいた結果、来年度に栄東女子大小路ビル協会から要望いただいたアンケート調査を実施するのは、予算的に難しい点と、調査実施について地域団体での合意形成ができるかという点を踏まえ、経費をかけずに今年度の調査結果を深掘りし、まちづくり事業への活用方法を検討するという予算案・事業計画案としたものである。

- ・調査研究事業の予算が0円ということは、事業としてなくなる訳ではなく、予算0円の事業が残るといふことか。

→今回説明した事業計画案の内容については、今後の地域団体での検討により変更があるかもしれないが、現時点の予算案及び事業計画案としては、経費をかけないということで予算額は0円とし、事業内容は「各地域団体において今年度の調査結果の深掘りをし、それを踏まえた今後のまちづくり事業への活用方法等を検討していただき、その検討結果を踏まえて再来年度以降のまちづくり事業について協議会事業とするかどうかも含めて協議する」という案としている段階である。

- ・ 栄東発展会からの調査研究事業の事業要望で「栄東地域の活性化のための各種イベントに対し地域のつながりや若い世代の参画を促進するため、…（中略）…新しいイベントや若い担い手の発掘方法や運営方法等について話し合いたい」とあるが、そういった検討を行うイメージか。

→栄東発展会ではそういったトピックで話し合いたいという意向が表明されているため、その話し合いの中で、今年度の調査結果を更に分析して出てきた情報を参考に取り組みの検討につなげることもできると考える。その分析に必要な調査結果のデータは事務局より共有する。

- ・ 今年度かなり時間をかけて実行委員の皆さんに尽力いただきアンケート調査を行ったため、来年度は予算がゼロだから何もやらないとにならないようにしてほしい。1年間何もせずに穴が開くとデータも古くなり風化してしまうため、難しいかもしれないが、各団体での話し合いとそれを踏まえた各団体間の調整、それに係る協議会でのフォローもしていただきたい。
- ・ 今年度の調査研究事業では、調査を実施して結果は出たが、分析については実行委員会では一定の考え方を整理していただいたところはあるが、協議会として議題として議論したことはない状態である。各団体は設立の趣旨が違い、皆で話し合うと意見が食い違う部分が多々あるかもしれないが、来年度の事業内容は事業計画案に記載されている通り、そういった地域3団体で調査結果の活用方法について検討をし、それらの検討結果を踏まえて協議会の場で再来年度以降のまちづくり事業に関して協議するとなっている。それをすることで、再来年度は予算を計上してこういう形で事業をやっていこうという議論となると思う。先程予算がゼロだから何もやらず風化していくことを懸念する発言があったが、事業計画に明記することで担保を取っていることになる。そういった内容を各団体で説明していただくといいと思う。
- ・ 栄東発展会ではアンケート調査の結果を踏まえて独自で話し合い深掘りをしようと考え、事業要望としているが、そこに栄東女子大小路ビル協会と栄東まちづくりの会も加わっていただき、地域3団体で実行委員会を作ってやればいいのか。
- ・ それはいい考えだと思う。

■報告事項

1. 環境美化事業 まち美活動の実施について

まち美活動の実施について資料の通り報告した。

（質問、意見）なし

2. 街路灯整備事業 街路灯の維持管理について

街路灯の維持管理について資料の通り報告した。

(質問、意見及び回答)

- ・新設街路灯の設置後3年以内でLED電灯が切れ多地点があるということだが、一般的にLEDは10年以上持つのではないかと。
→標準の光源寿命としてはそうだが、点灯時間等の設置環境によってそれより早く切れたり、たまたま不良品に当たった場合等もあるのではないかと考えられる。
- ・3年以内に点灯不良になるのは電球の不具合ではなく、器具の不具合の場合もあるのではないかと。
→その可能性もあるため、今回の修繕工事の際に器具の不具合がないか確認することに加え、今後の調査でも同じ地点が点灯不良になっていないか等注意して見るようにする。

3. 地域活性化事業 イルミネーションイベントの実施について

イルミネーションイベントの実施について資料の通り報告した。

(質問、意見)なし

■その他

1. 公園整備・活用事業 男子トイレの床塗装修繕について

男子トイレの床塗装修繕工事の実施に伴い、男子トイレは12月10日(火)から12月12日(木)にかけて使用不可となることを報告した。

2. 次回協議会の日程について

次回協議会は1月9日(木)18:00より栄東まちづくり協議会会議室にて開催する。

3. 池田公園イルミネーション装飾の外部団体広報誌の掲載実績について

池田公園イルミネーション装飾が「地域みっちゃく生活情報誌 NAGOYA FURIMO 12月号」に掲載されたことを報告した。

以上